

横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業について アンケート結果 ～再開発事業を約8割が評価、駅とまちをつなぐ歩行者デッキが高評価～

横浜市では、市街地開発事業の計画づくりや事業推進に生かしていくため、事業に対する整備効果検証の一環として、事業完了地区の周辺にお住まいの方や、来街者の方などを対象としたアンケート調査を平成23年度から実施しています。

令和6年度に工事が完了した「横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業」について、令和7年10月から11月に実施したアンケート調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

1 調査概要

対象事業	横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業（詳細は裏面「事業概要」参照）
調査対象者	駅周辺の居住者（回答数 943 / 配布数 3,000） 駅周辺の来街者（回答数 492 / 配布数 2,000） その他（再開発ビル内の居住者、営業者）

2 主な調査結果（駅周辺の居住者及び来街者の合計）

再開発事業に対する評価について、「評価できる」、「概ね評価できる」の回答が合計で、76.7%となりました。事業の評価できる点として、「横浜駅に直結した歩行者デッキ（はまレールウォーク）が整備され、駅との往来がしやすくなった」、「歩道の拡幅や歩行者デッキの整備がされ、安全で歩きやすくなった」が特に高く評価されています。

また、横浜駅西口周辺において今後に期待する点として、「周辺の狭い道路や老朽化した建物などの改善に向け、再開発などのまちづくりを広げてほしい」、「緑やゆとりのある空間を増やしてほしい」の回答が特に多い結果となりました。

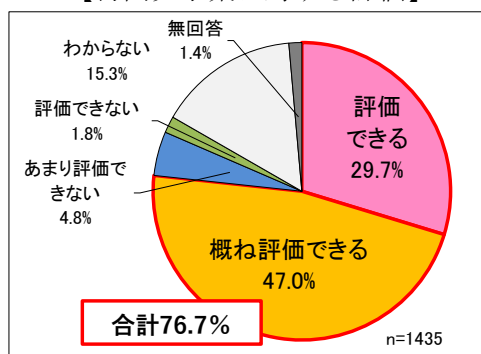
調査結果の詳細は、下記 URL の「横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業に関するアンケート調査結果 報告書」をご覧ください。

【URL】

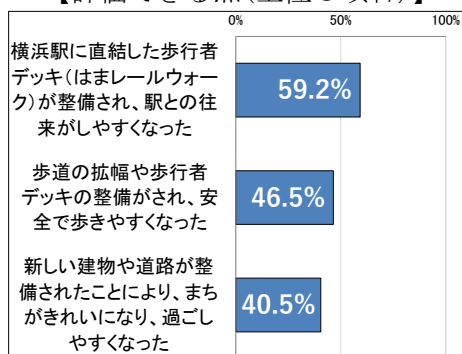
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/jokyo/enquete/tsuruyachou.html>



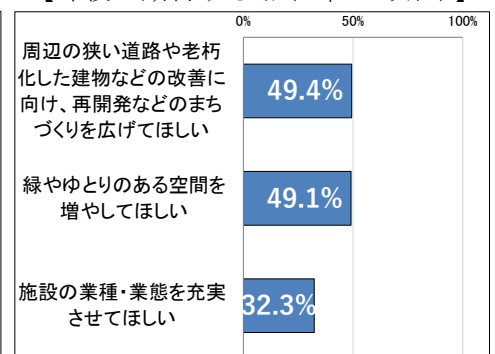
【再開発事業に対する評価】



【評価できる点(上位3項目)】



【今後に期待する点(上位3項目)】



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

(参考)

【事業概要】

事業名称	横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業
施行者	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
所在地	神奈川区鶴屋町1丁目
地区面積	約 0.8 ha
建物概要 (主要用途)	住宅、店舗、ホテル、サービスアパートメント、 交流施設等
(規模)	地上 43 階 / 地下 2 階



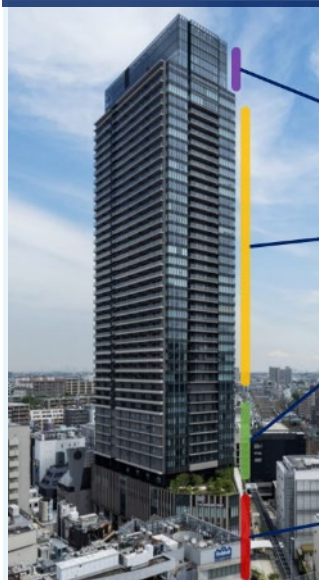
《主な整備内容》

本再開発事業では、

- ・再開発ビル（商業・クリニックモール、宿泊施設、交流施設、共同住宅等）、
- ・再開発ビル周辺の道路拡幅（歩道新設）、
- ・交通広場（タクシー乗場）、
- ・横浜駅とまちをつなぐ歩行者デッキ（はまレールウォーク）を整備しました。

【再開発ビル】

THE YOKOHAMA FRONT (ザ ヨコハマ フロント)

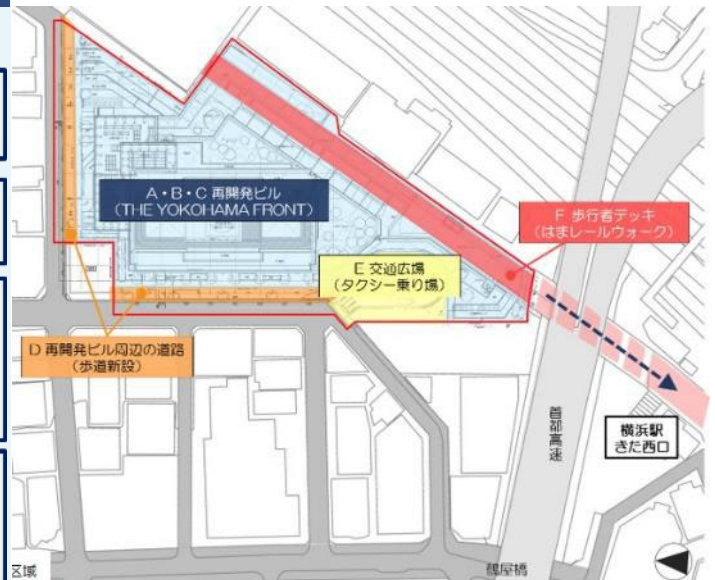


42F
【C】交流施設 (Vlag yokohama)
事業共創をテーマとした交流の場創出

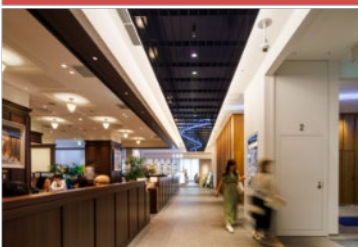
5・13～41F / レジデンス
多様な居住ニーズに応じた滞在空間の提供
■戸数/459戸

4F、6～10F、11～12F
【B】宿泊施設
(相鉄ホテルズ ザ・スプラジール横浜)
グローバルレジデントの
短・中期滞在に応える宿泊機能
■部屋数/221室

1～4F
【A】商業・クリニックモール
グローバルプレイヤーが安心して
快適に暮らせる生活支援・利便施設
3階には多言語対応クリニックモール



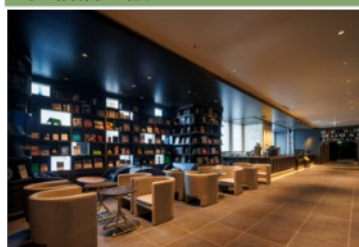
A. 商業・クリニックモール



D. 再開発ビル周辺の道路



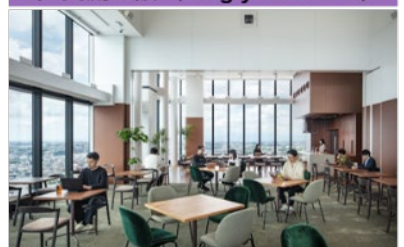
B. 宿泊施設



E. 交通広場 (タクシー乗場)



C. 交流施設 (Vlag yokohama)



F. 歩行者デッキ



お問合せ先

横浜駅・みなとみらい事業推進課長 中村 Tel 045-671-3961



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

